

## 特別講演

13:30 ~ 14:20 (A会場)

### 特別講演 1

座長：加藤 茂明 (いわき明星大学 地域連携センター、公益財団法人 ときわ会先端医学研究センター (RIIM))

#### 「脊椎動物の脳に存在する自発運動を制御するニューロステロイド、 7 $\alpha$ -ヒドロキシプレグネノロンの発見：同定と作用機構、発現制御機構の解明」

筒井 和義 (つつい かずよし)

早稲田大学・教育・総合科学学術院 / 大学院先進理工学研究科 / 先端生命医科学センター

14:20 ~ 15:10 (A会場)

### 特別講演 2

座長：生水 真紀夫 (千葉大学大学院医学研究院生殖医学)

#### 「ショウジョウバエの性行動を制御する神経回路と進化」

山元 大輔 (やまもと だいすけ)

国立研究開発法人情報通信研究機構 未来ICT研究所

## 研究奨励賞受賞講演

15:20 ~ 15:35 (A会場)

座長：柳瀬 敏彦 (福岡大学医学部 内分泌・糖尿病内科)

#### 「ステロイドホルモン標的遺伝子のがんおよび生体における作用機構の解明と臨床応用 に関する研究」

池田 和博 (いけだ かずひろ)

埼玉医科大学・ゲノム医学研究センター・遺伝子情報制御部門

## シンポジウム

10:00 ~ 12:00 (A会場)

### 分子標的薬時代のステロイド

座長：緒方 勤 (浜松医科大学 小児科)

田中 廣壽 (東京大学医科学研究所附属病院 抗体・ワクチンセンター免疫病治療学分野)

#### 「小児内分泌領域における分子標的薬時代のステロイド」

長谷川 奉延 (はせがわ とものぶ)

慶應義塾大学医学部 小児科学教室

#### 「産科における分子標的薬時代のステロイド」

田中 宏一 (たなか ひろかず)

国際医療福祉大学 産婦人科

#### 「分子標的薬時代のステロイド：全身性炎症性疾患」

中島 裕史 (なかじま ひろし)

千葉大学大学院医学研究院 アレルギー・臨床免疫学

#### 「男性ホルモン補充療法：臨床的・基礎的な視点から」

大塚 文男 (おおつか ふみお)

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 総合内科学

#### 「前立腺がんにおけるホルモン療法とその耐性獲得のメカニズム」

井上 聡 (いのうえ さとし)

東京都健康長寿医療センター研究所老化制御システム加齢医学

埼玉医科大学ゲノム医学研究センター遺伝子情報制御

#### 「ミステリアスホルモン、DHEA(-S)の作用機構と分子標的」

柳瀬 敏彦 (やなせ としひこ)

福岡大学医学部 内分泌・糖尿病内科

## ランチョンセミナー

12:05 ~ 13:05 (A会場)

**ランチョンセミナー1** 共催：大塚製薬株式会社

座長：柳瀬 敏彦（福岡大学医学部 内分泌・糖尿病内科）

### 「華麗なる加齢のために

### ～ エストロゲン投与のベネフィットとリスクに関するパラダイムシフト」

高松 潔（たかまつ きよし）

東京歯科大学市川総合病院産婦人科

12:05 ~ 13:05 (B会場)

**ランチョンセミナー2** 共催：中外製薬株式会社

座長：原田 信広（藤田保健衛生大学医学部 生化学）

### 「ステロイド骨粗鬆症 up-to-date と副腎性クッシング症候群の最近の話題」

田中 知明（たなか ともあき）

千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学

## 一般演題

### ■ 一般演題A1 優秀演題賞候補セッション 9:00 ~ 10:00 (A会場)

座長：方波見 卓行 (聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 代謝・内分泌内科)  
長谷川 奉延 (慶応義塾大学医学部 小児科学教室)

#### A1-1 脂肪細胞GRはATGL遺伝子上の新規イントロニックエンハンサーを介しクッシング症候群の病態に寄与する

林 令子 (はやし れいこ)<sup>1)</sup>、奥野 陽亮<sup>1)</sup>、向井 康祐<sup>1)</sup>、福原 淳範<sup>1,2)</sup>、大月 道夫<sup>1)</sup>、  
下村 伊一郎<sup>1)</sup>

- 1) 大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学、
- 2) 大阪大学大学院医学系研究科 肥満脂肪病態学寄附講座

#### A1-2 クッシング症候群の体組成構築とエネルギー代謝における骨格筋・肝臓・脂肪連関

上原 昌晃 (うえはら まさあき)<sup>1)</sup>、山崎 広貴<sup>1)</sup>、吉川 賢忠<sup>1)</sup>、福山 聡<sup>3)</sup>、河岡 義裕<sup>3)</sup>、  
田中 廣壽<sup>1,2)</sup>

- 1) 東京大学医科学研究所 附属病院アレルギー免疫科、
- 2) 同 附属病院抗体・ワクチンセンター免疫病治療学分野、3) 同 ウイルス感染分野

#### A1-3 女性ホルモンに応答する患者由来子宮内膜がん培養・移植モデルの確立とそのメカニズムの解析

柴 祥子 (しば さちこ)<sup>1)</sup>、池田 和博<sup>1)</sup>、鈴木 貴<sup>2)</sup>、新谷 大輔<sup>3)</sup>、岡本 康司<sup>4)</sup>、堀江 公仁子<sup>1)</sup>、  
長谷川 幸清<sup>3)</sup>、井上 聡<sup>1,5)</sup>

- 1) 埼玉医科大学ゲノム医学研究センター遺伝子情報制御部門、2) 東北大学大学院医学系研究科病理検査学分野、
- 3) 埼玉医科大学国際医療センター婦人科腫瘍科、4) 国立がん研究センター研究所がん分化制御解析分野、
- 5) 東京都健康長寿医療センター研究所老化制御システム加齢医学研究

#### A1-4 胎生期低栄養環境は胎仔期の性ステロイド合成障害と成獣期の精子数減少を引き起こす

小野 裕之 (おの ひろゆき)<sup>1)</sup>、藤澤 泰子<sup>1)</sup>、紺野 在<sup>2)</sup>、矢尾 育子<sup>3)</sup>、加藤 芙弥子<sup>1)</sup>、  
門奈 央子<sup>1)</sup>、緒方 勤<sup>1)</sup>

- 1) 浜松医科大学 小児科、2) 浜松医科大学 フォトニクス医学研究部 医学分光応用研究室、
- 3) 浜松医科大学 フォトニクス医学研究部 光イメージング研究室

#### A1-5 思春期・小児期のヒト骨組織からのアロマトラーゼ活性の検出

碓井 宏和 (うすい ひろかず)<sup>1)</sup>、西須 孝<sup>2)</sup>、生水 真紀夫<sup>1)</sup>

- 1) 千葉大学大学院医学研究院 生殖医学、2) 千葉県こども病院 整形外科

#### A1-6 顆粒膜細胞における時計遺伝子とBMPによる卵胞ステロイド合成調節

長尾 聡子 (ながお さとこ)<sup>1)</sup>、岩田 菜穂子<sup>1)</sup>、副島 佳晃<sup>3)</sup>、滝口 隆章<sup>3)</sup>、青影 珠実<sup>3)</sup>、  
上里 祐賀<sup>3)</sup>、中野 靖浩<sup>1)</sup>、灘 隆宏<sup>1)</sup>、長谷川 徹<sup>2)</sup>、大塚 文男<sup>1)</sup>

- 1) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 総合内科学、2) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 産婦人科学、
- 3) 岡山大学医学部医学科

■ 一般演題A2 その他 15:35 ~ 16:15 (A会場)

座長：大塚 文男 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 総合内科学)

A2-1 PGC-1 $\alpha$ を介した系は子宮内膜症新規治療戦略として有望である

森 泰輔 (もり たいすけ)、片岡 恒、伊藤 文武、沖村 浩之、垂水 洋輔、小芝 明美、楠木 泉、  
北脇 城

京都府立医科大学大学院女性生涯医科学

A2-2 ヒトおよびウシ副腎細胞ステロイド産生へのレチノイン酸の作用

山崎 岳 (やまざき たけし)、島田 真一、藤田 礼二、石原 康宏

広島大学 総合科学研究科

A2-3 エストロゲン枯渇耐性乳がんに対する分子標的薬の効果予測因子

鶴町 綾子 (つるまち あやこ)<sup>1)</sup>、雪竹 潤<sup>2)</sup>、原田 信広<sup>1)</sup>、林 孝典<sup>1)</sup>

1) 藤田保健衛生大学 医学部 生化学、2) 藤田保健衛生大学 医療科学部 臨床検査学科

A2-4 前立腺がんにおけるPSA遺伝子発現を担うenhancer RNA群の性状

森 甚一 (もり じんいち)<sup>1,2,3)</sup>、西村 耕一<sup>1,2)</sup>、山下 かおり<sup>3)</sup>、越智 満久<sup>1,3)</sup>、新村 浩明<sup>3)</sup>、  
加藤 茂明<sup>1,2)</sup>

1) 公益法人ときわ会先端医学研究センター、2) いわき明星大学地域連携センター、3) ときわ会常磐病院

■ 一般演題A3 エストロゲン、アンドロゲン 16:15 ~ 16:55 (A会場)

座長：市川 智彦 (千葉大学大学院医学研究院 泌尿器科学)

A3-1 テストステロン軟膏の糖尿病治療への寄与

上芝 元 (うえしば はじめ)<sup>1,2)</sup>

1) 東邦大学健康推進センター、2) 東邦大学医学部内科学糖尿病・代謝・内分泌学分野

A3-2 ニューロエストロゲンが摂食行動に及ぼす影響とメカニズム

林 孝典 (はやし たかのり)<sup>1)</sup>、西尾 永司<sup>2)</sup>、會田 訓子<sup>2)</sup>、本田 伸一郎<sup>3)</sup>、原田 信広<sup>1)</sup>

1) 藤田保健衛生大学 医学部 生化学、2) 藤田保健衛生大学 医学部 産婦人科学、

3) 福岡大学 薬学部 生化学

A3-3 LC-MS/MSによる11-Ketotestosterone及びその関連ステロイドの同時測定法の開発

西川 潤 (にしかわ じゅん)、宮代 好通、藤方 明

株式会社あすか製薬メディカル 検査事業部

A3-4 精液中微量成分と精子運動能および形態における関連性

大久保 毅 (おおくぼ つよし)<sup>1)</sup>、青野 文仁<sup>1)</sup>、上野 剛<sup>1)</sup>、長田 尚夫<sup>1)</sup>、増田 隆昌<sup>2)</sup>、陸 彦<sup>2,4)</sup>、  
瀧本 陽介<sup>2)</sup>、島田 昌之<sup>3)</sup>、寺元 章吉<sup>1)</sup>

1) Natural ART Clinic 日本橋、2) 株式会社DANTTE、3) 広島大学大学院生物圏科学研究科、

4) 順天堂大学大学院医学研究科泌尿器外科学

■ 一般演題B1 ミネラルコルチコイド 9:00 ~ 10:00 (B会場)

座長：武田 仁勇 (金沢大学附属病院 先端医療開発センター)

B1-1 原発性アルドステロン症の免疫組織学的解析と病型診断の関連

青野 大輔 (あおの だいすけ)、米谷 充弘、木村 友美、蘇馬 由依、東谷 拓弥、橋本 篤、  
唐島 成宙、米田 隆、武田 仁勇

金沢大学医薬保健学総合研究科循環器病態内科学 (内分泌代謝内科)

B1-2 原発性アルドステロン症の耐糖能に影響する因子の検討

明比 祐子 (あけひ ゆうこ)<sup>1)</sup>、柳瀬 敏彦<sup>1)</sup>、元永 綾子<sup>1)</sup>、曾根 正勝<sup>2)</sup>、武田 仁勇<sup>3)</sup>、  
馬越 洋宜<sup>4)</sup>、立木 美香<sup>4)</sup>、方波見 卓行<sup>5)</sup>、成瀬 光栄<sup>4)</sup>、JPAS グループ<sup>1,2,3,4,5)</sup>

1) 福岡大学 内分泌・糖尿病内科、2) 京都大学 糖尿病・内分泌・栄養内科学、

3) 金沢大学大学院医学系研究科 循環器病態内科学、4) 国立病院機構京都医療センター 内分泌代謝内科、

5) 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 代謝・内分泌内科

B1-3 コルチゾール自律産生を伴ったアルドステロン産生腺腫の1例

堀谷 愛美 (ほりや めぐみ)<sup>1)</sup>、岡内 省三<sup>1,2)</sup>、辰巳 文則<sup>1)</sup>、菅 勇貴<sup>1)</sup>、小原 健司<sup>1)</sup>、  
下田 将司<sup>1)</sup>、中西 修平<sup>1)</sup>、宗 友厚<sup>1)</sup>、西本 紘嗣郎<sup>2)</sup>、加来 浩平<sup>1)</sup>、金藤 秀明<sup>1)</sup>

1) 川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学、2) 埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器腫瘍科

B1-4 わが国の原発性アルドステロン症患者の心血管イベント有病率と発症に関わる因子

大野 洋一 (おおの よういち)<sup>1)</sup>、曾根 正勝<sup>1)</sup>、稲垣 暢也<sup>1)</sup>、武田 仁勇<sup>2)</sup>、栗原 勲<sup>3)</sup>、伊藤 裕<sup>3)</sup>、  
馬越 洋宜<sup>4)</sup>、方波見 卓行<sup>5)</sup>、成瀬 光栄<sup>4)</sup>、JPAS 研究班<sup>4)</sup>

1) 京都大学、2) 金沢大学、3) 慶応義塾大学、4) 京都医療センター、

5) 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 代謝・内分泌内科

B1-5 KCNJ5 遺伝子変異の有無を術前に診断可能か？

井上 浩輔 (いのうえ こうすけ)<sup>1)</sup>、山崎 有人<sup>2)</sup>、北本 匠<sup>1)</sup>、廣瀬 玲<sup>1)</sup>、齋藤 淳<sup>1)</sup>、大村 昌夫<sup>1)</sup>、  
笹野 公伸<sup>2)</sup>、西川 哲男<sup>1)</sup>

1) 横浜労災病院 内分泌・糖尿病センター、2) 東北大学大学院医学系研究科 病理診断学分野

B1-6 エプレレノン投与した原発性アルドステロン症における治療後の血漿レニン活性の検討

和田 典男 (わだ のりお)<sup>1)</sup>、柴山 惟<sup>2)</sup>、馬場 周平<sup>1)</sup>、高橋 清彦<sup>1)</sup>、三次 有奈<sup>1)</sup>、小原 慎司<sup>1)</sup>

1) 市立札幌病院 糖尿病・内分泌内科、2) 北海道大学大学院医学院・医学研究院 免疫・代謝内科

■ 一般演題B2 クッシング症候群、先天性副腎疾患 10:00 ~ 10:50 (B会場)

座長：田島 敏広 (自治医科大学とちぎ子ども医療センター 小児科)

B2-1 クッシング症候群の新規診断法：TSH ratio

玉田 大介 (たまだ だいすけ)<sup>1,2)</sup>、北村 哲宏<sup>1,2)</sup>、大月 道夫<sup>1)</sup>、下村 伊一郎<sup>1)</sup>

1) 大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学、2) 玉田クリニック

B2-2 クッシングレジストリの構築と11 $\beta$ HSD-type1阻害薬の治療効果の検討

織田 聡子 (おだ さとこ)<sup>1)</sup>、永田 宙生<sup>1)</sup>、坂本 昌平<sup>1)</sup>、坂本 竜一<sup>1)</sup>、小川 佳宏<sup>1)</sup>、  
内山 麻希子<sup>2)</sup>、戸高 浩司<sup>2)</sup>、中西 洋一<sup>2)</sup>、蘆田 健二<sup>3)</sup>、野村 政壽<sup>3)</sup>

1) 九州大学病院 病態制御内科学、2) 九州大学病院 ARO次世代医療センター、  
3) 久留米大学病院内分泌代謝内科

B2-3 開始コドンを含む微細欠失を同定した小児期発症DAX1異常症の2例

天野 直子 (あまの なおこ)<sup>1,2)</sup>、室谷 浩二<sup>3)</sup>、佐藤 武志<sup>3)</sup>、土岐 真智子<sup>3,4)</sup>、平野 泰大<sup>4)</sup>、  
上牧 務<sup>4)</sup>、長谷川 奉延<sup>1)</sup>

1) 慶應義塾大学医学部小児科、2) 東京都済生会中央病院小児科、  
3) 神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科、4) 平塚市民病院小児科

B2-4 多房性卵巣嚢腫を契機として成人期に診断に至ったCYP17A1 deficiencyの一例

粒来 拓 (つぶらい たく)<sup>1,2,5)</sup>、塙 真輔<sup>1)</sup>、荒田 与志子<sup>1)</sup>、長谷川 哲哉<sup>1)</sup>、青井 裕美<sup>3)</sup>、  
宮武 聡子<sup>3)</sup>、松本 直通<sup>3)</sup>、榊原 秀也<sup>3)</sup>、石川 雅彦<sup>1)</sup>、宮城 悦子<sup>4)</sup>

1) 大和市立病院 産婦人科、2) 横浜市立大学附属市民総合医療センター 婦人科、  
3) 横浜市立大学大学院医学研究科 遺伝学、4) 横浜市立大学附属病院 産婦人科、5) 綱島女性クリニック

B2-5 不妊治療中に持続する高プロゲステロン血症を契機に、非古典型先天性副腎皮質過形成症と診断された一例

河原井 麗正 (かわらい よしまさ)<sup>1)</sup>、石川 博士<sup>2)</sup>、瀬川 智也<sup>3)</sup>、寺元 章吉<sup>3)</sup>、田中 知明<sup>4)</sup>、  
生水 真紀夫<sup>2)</sup>

1) 君津中央病院産婦人科、2) 千葉大学大学院医学研究院生殖医学、3) 新橋夢クリニック、  
4) 千葉大学大学院医学研究院分子病態解析学



■ 一般演題B3 グルココルチコイド 15:35 ~ 16:05 (B会場)

座長：田中 知明 (千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学)

B3-1 一般検査による急性副腎不全の診断能の検討

月山 秀一 (つきやま ひでかず)<sup>1)</sup>、方波見 卓行<sup>1)</sup>、村上 万里子<sup>2)</sup>、清水 沙智<sup>2)</sup>、松葉 怜<sup>3)</sup>、  
山本 雄太郎<sup>2)</sup>、西根 亜実<sup>2)</sup>、中村 祐太<sup>1)</sup>、中山 太雅<sup>1)</sup>、菱田 吉明<sup>1)</sup>、田中 逸<sup>2)</sup>

1) 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院、2) 聖マリアンナ医科大学病院、3) 聖マリアンナ医科大学東横病院

B3-2 血中コルチゾール/DHEA-S比は高齢者糖尿病患者のサルコペニアの予測因子となる

柳田 育美 (やなぎた いくみ)<sup>1,2)</sup>、藤原 裕矢<sup>1,2)</sup>、北嶋 優一<sup>1)</sup>、田島 美涼<sup>1)</sup>、浅川 英子<sup>1)</sup>、  
義本 正二<sup>1)</sup>、間 英二<sup>1)</sup>、柳瀬 敏彦<sup>2)</sup>、名和田 新<sup>1)</sup>、牟田 和男<sup>1)</sup>

1) 牟田病院、2) 福岡大学病院 内分泌糖尿病内科

B3-3 自己免疫性膵炎を合併したIgG4関連下垂体炎4例に対するステロイド治療の臨床的検討

森高 かの子 (もりたか かのこ)、和田 暢彦、蘆田 健二、日高 満美、合原 水月、大塚 由絵、  
松尾 裕子、花島 正治、川原 万未子、田尻 祐司、野村 政壽

久留米大学医学部内科学講座内分泌代謝内科部門

■ 一般演題B4 発現調節、基礎 16:05 ~ 16:45 (B会場)

座長：宗 友厚 (川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科)

- B4-1 circAd4BP RNAの発見：正常副腎、CX-4945添加H295R細胞における発現解析  
大江 賢治 (おおえ けんじ)<sup>1)</sup>、田中 智子<sup>2)</sup>、柳瀬 敏彦<sup>3)</sup>  
1) 福岡大学薬学部 臨床薬物治療学、2) 福岡大学医学部・生活習慣病病態制御講座、  
3) 福岡大学医学部・内分泌糖尿病内科
- B4-2 インクレチン・副腎皮質ステロイドによるカテコラミン合成への影響とそのメカニズム  
小松原 基志 (こまつばら もとし)<sup>1)</sup>、灘 隆宏<sup>2)</sup>、稲垣 兼一<sup>1)</sup>、和田 淳<sup>1)</sup>、大塚 文男<sup>2)</sup>  
1) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝内科学、  
2) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 総合内科学
- B4-3 ヒトiPS細胞由来中間中胚葉からステロイド産生細胞への分化におけるドーパミンD1受容体シグナルの意義  
曾根 正勝 (そね まさかつ)<sup>1)</sup>、松尾 浩司<sup>1)</sup>、園山 拓洋<sup>1)</sup>、河面 恭子<sup>1)</sup>、岡本 健太郎<sup>1)</sup>、  
田浦 大輔<sup>1)</sup>、長船 健二<sup>2)</sup>、中尾 一和<sup>3)</sup>、稲垣 暢也<sup>1)</sup>  
1) 京都大学医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科、2) 京都大学 iPS細胞研究所、  
3) 京都大学 メディカルイノベーションセンター
- B4-4 新規副腎皮質癌治療薬候補薬剤CX-4945の作用機序について  
田中 智子 (たなか ともこ)<sup>1)</sup>、大江 賢治<sup>2)</sup>、柳瀬 敏彦<sup>3)</sup>  
1) 福岡大学医学部 生活習慣病病態制御講座、2) 福岡大学薬学部 臨床薬物治療学、  
3) 福岡大学医学部 内分泌・糖尿病内科